

会 議 録

会議の名称	小清水町防災拠点型複合庁舎建設検討委員会 第6回会議
開催日時	令和元年12月12日(木) 13:30~15:15
開催場所	役場2階 議場
出席者	別紙のとおり
議 題	1 プロポーザル方式の説明について 2 基本計画の最終確認について
配布資料	資料1 防災拠点型複合庁舎建設基本計画
会議録の作成方針	要点記録

<p>審議内容</p>	<p>1 プロポーザル方式の説明について 2 基本計画の最終確認について</p>
<p>1 プロポーザル方式の説明について</p>	
<p>設計料の多寡による選定方式のみで設計者を選定するのではなく、設計者の創造性、技術力、経験等を適正に審査したうえで最も適した設計者を選定するための方法であることを説明した。</p>	
<p>また、設計案そのものを評価対象とするコンペとは違い、設計を委託すべき適任者「設計者（人）」を選ぶためにプロポーザルを行うことを説明した。</p>	
<p>【質 疑】</p>	
<p>■ 一般型と公募型の説明をして欲しい。</p>	
<p>→ 指名願を出している業者が自らの意志で参加できるのが公募型、町の選考委員会であらかじめ業者を指名するのが指定型となっている。全道的に庁舎建設の計画が多くあり、応募がない可能性があることから参加を促すことができる指名型を採用することとした。</p>	
<p>なお、採点は、町内での実績、庁舎の実績、技術者の人数や町で指定する特定テーマの理解度、その提案内容を選考委員が個人ごとに採点し、全員の平均値で順位を決めることになる。</p>	
<p>本検討委員は選考委員になることはできないが、提案書の説明を聞くヒアリングは傍聴席を設けた公開ヒアリングとして行う計画であることを説明した。</p>	
<p>■ 指名業者の選定は町内実績だけを評価しないで、幅を広げて指名して欲しい。</p>	
<p>→ 庁舎建設の実績なども考慮して選考していきたい。</p>	
<p>2 基本計画の最終確認について</p>	
<p>基本方針にフェーズフリーの項目を増やしたこと、スケジュールを圧縮するため見直しを行ったことを説明した。また、新庁舎は災害発生時に逃げ込む場所となる「一時的な避難所」として位置付けること、交通対策は検討中であるため詳細は触れないことを説明した。</p>	
<p>【質 疑】</p>	
<p>■ にぎわいのある空間については、無駄なスペースとならないように継続して欲しい。</p>	
<p>→ 特殊性の高い施設とならないよう、時代のニーズに対応できるよう柔軟な空間設計を求める。</p>	

<p>■ 職員にとっても働きやすい職場になるようにして欲しい。</p>
<p>→ 基本計画には記載していないが机の配置や動線について配慮する。</p>
<p>■ お客さんから職員の顔が見えるような配置にして欲しい。</p>
<p>→ 来客に気づきやすいような窓口の配置など、詳細の検討をこれからの設計業務の中で検討委員会と意見交換をしながら進めていく。</p>
<p>■ 町民に対してにぎわいのある空間の説明をしっかりとって欲しい。</p>
<p>→ 1月15日から行う町民説明会で基本計画をもとに説明していきたい。</p>
<p>■ 設計業務以外にも他の業者を入れると聞いたが、具体的に何をするのか。</p>
<p>→ にぎわいの空間については、設計業者とは別に監修を委託することになる。</p>
<p>■ 保健センター機能が移転した後のふれあいセンターのことも考える必要がある。</p>
<p>→ 所管である保健福祉課と指定管理業者でも検討しており、シングルルームやシャワー一室の設置、レストランを玄関付近に移転するなどの構想はあると聞いている。</p>
<p>ただ、現時点では具体的な計画までは進んでいない。</p>
<p>■ にぎわいのある空間は、大きなサロンににぎわいのツールが点在する形がいいと思う。</p>
<p>→ 賑わいのツールも含めて、配置や動線はこれからの設計で検討する。</p>
<p>■ レントゲン車スペースはどのようにするのか表記した方がよいのではないか。</p>
<p>→ 現在のような車庫とするのか、雨をしのぐための屋根だけを付けるのか、本計画の中では決定せず、ゾーニングなども合わせて検討する。</p>
<p>■ 手織りの会がビームスとのコラボによって東京に進出した。町としても活動の継続のため、賑わいの中に活動拠点をすることも考えて欲しい。</p>
<p>→ 町としても素晴らしい活躍であると感じている。他団体との兼ね合いもあるため、これからも協議を行うこととする。</p>
<p>■ にぎわいある空間を商工会に丸投げするのではなく、共同で進めていくことを明記した方がよいのではないか。また、サンドフィットネスやボルタリングなどは高齢者が対象だとは思えない。</p>
<p>→ 商工会にはにぎわいのある空間についての調整をお願いしており、今後も協力しながら進めて行くことを基本計画に記載している。フィットネスクラブでは介護予防も併せて行っている事例もあり、ソフト面の充実により幅広い年齢層を対象とできると考えている。</p>
<p>■ 文化活動で議場などの場所を使うことはできるのか。</p>
<p>→ 空いていれば自由に使えるように調整していきたい。</p>
<p>■ 現在の議場は傍聴席も十分ではないため広くして欲しい。</p>

→ 議員定数が10名であれば標準的な面積は300㎡であり、現在の3倍の広さとなるため、それらの基準を参考にしていきたい。

■ 人が集まれる場所がないからさみしくなっていると思う。人が集まるようになれば、町に活気ができるような気がする。

→ コミュニティの再生のために新庁舎をまちの中心拠点として整備することを考えている。

■ 屋外施設は何を予定しているのか。

→ 庁舎の位置や駐車場の広さなどが決まり、エリアとしてのゾーニングが具体化しないと使えるスペースが見えてこないため、今後の課題と考えている。
